

日曜  
予  
定

# 御宿 ONJUKU

ONJUKU

No.504

# 4月

2005.平成17年



もう慣れたかな？

- 2 平成17年度予算—教育環境重点整備—
- 10 子育てを支える—行動計画を策定—
- 12 まちの出来事
- 16 彩発見—ビスクドール—

平成17年度 予算概要

— 教育環境の向上 —

# 御宿中学校の 建設に取り組む

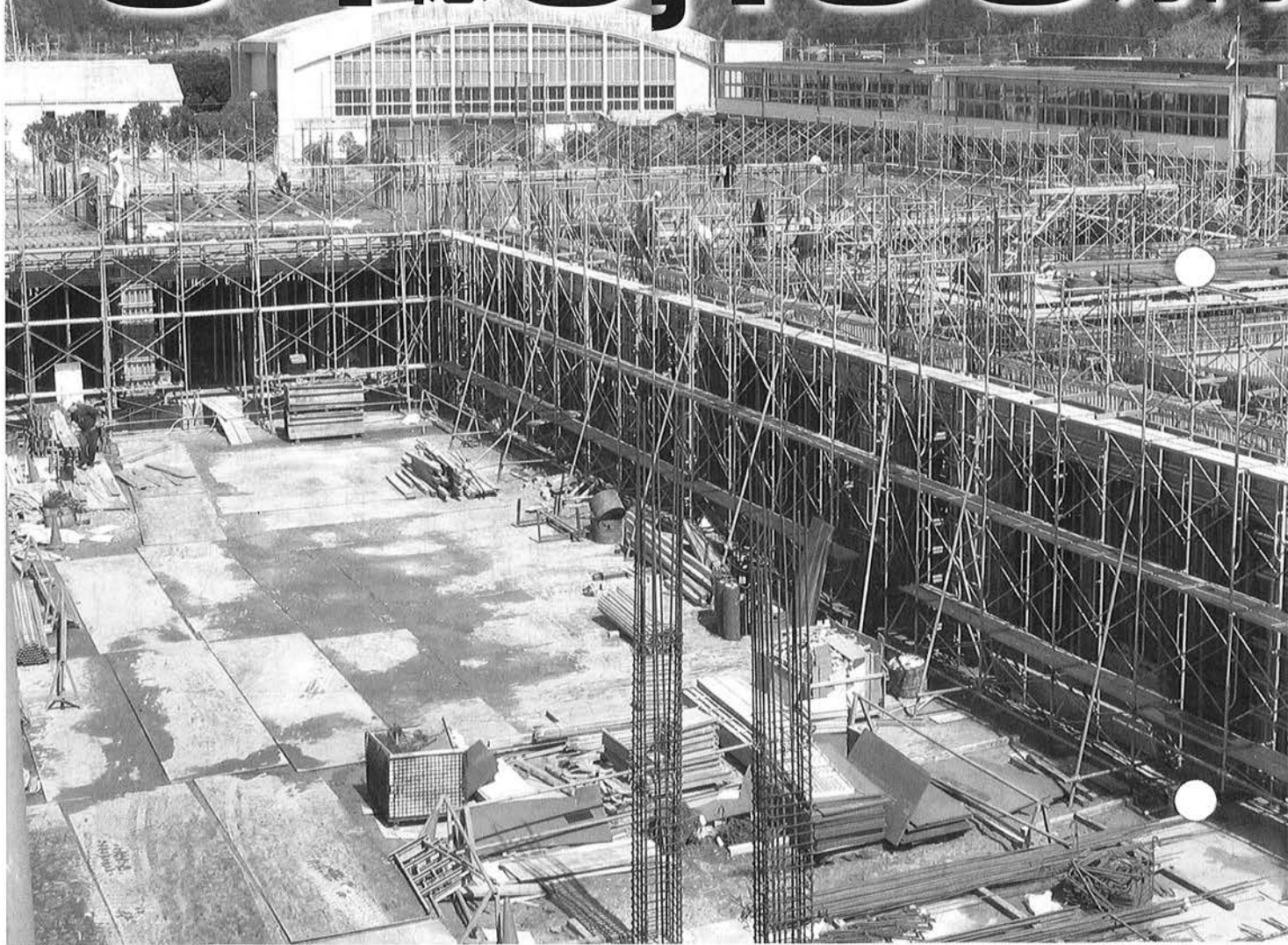
を有効活用



▲将来を担う子どもたちの教育環境の充実を図ります

「満足・充実」をテーマに

34億9,100万円

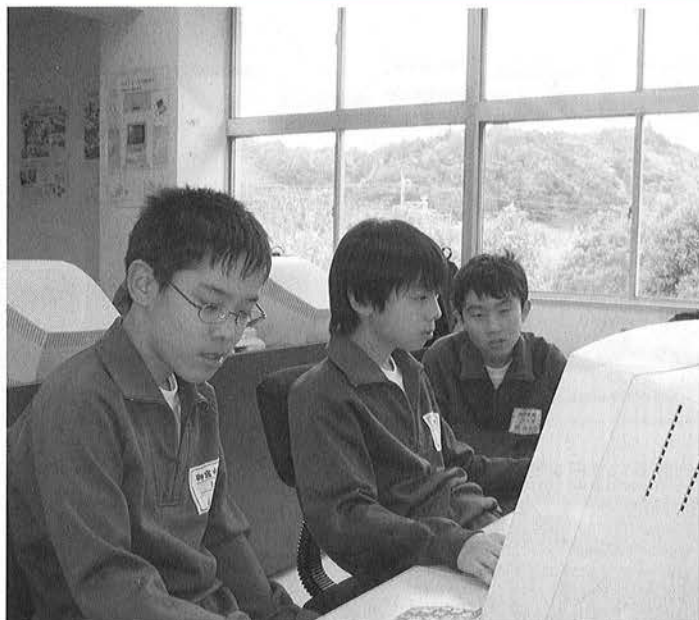


平成十七年度の一般会計  
予算の規模は三四億九、一〇  
〇万円となり、前年度に比べ  
四・一%の増となりました。

予算編成では、町の財政状  
況をふまえ、これまで以上の  
創意工夫により従来の事業に  
についても一から見直しを行っ  
たところです。

今年度は、中学校建設、道  
路新設改良や漁港防波堤の高  
上げなど生活や産業の基盤整  
備、公共施設の修繕のほか、  
住民福祉の向上や各産業の振  
興など、様々な住民ニーズに  
応えるため各種施策事業への  
有効的な予算配分を行いました。

## 中学校建設事業 校舎の完成を目指す 教育



▲新しい校舎では各教室でもパソコンの利用が可能

未来の御宿町を支える子ども  
の教育環境を充実させるため、  
中学校校舎改築を最重要課題として位置づけ、「良好な環境と調和した夢を育む学校づくり」をテーマに、昨年

十月に着工しました。校舎は本年の十二月に完成する予定です。

今年度は、建設費約六億九、七九九万円を投入し、生涯学習にも対応した多目的室



▲この校舎もまもなく生まれ変わります

また、国際化社会に適應できるよう、中学生海外派遣事業や外国語授業の助手として外国人を招致し、語学力の向上を図ります。さらに野沢温泉村との海と山の子交流会や高齢者ふれあい学級など様々な交流事業を実施します。

生徒の自己学習を推進する生活・理科・文化・芸術四タイプのメディアギャラリー、教室の機能を拡張することが可能な多目的スペースなど、これまでにはない機能やバリエーションを備えた校舎が完成します。あわせて外構工事を行うとともに、学習環境を充実させるため校内の設備を整えます。

## 支えます、子育てから健康づくりまで 福祉



▲福祉サービスの充実を図ります

だれもが安心して生活がい  
を持つて生活できるまちづく  
りを進めます。各世代にあわ  
せた予防接種事業や健康診査  
を行い、保健事業の充実を図  
ります。

お年寄りや体の不自由な方  
が、住みなれた環境のなかで  
生活できるよう、安否確認事  
業や緊急通報装置設置、支援  
制度の充実など各種福祉サー  
ビスに取り組みます。

また、平成十八年度に介護

保険制度が大きく変わります  
が、地域の実情に合わせた介  
護サービスの確保、保険給付  
の適正化を図るために、介護  
保険事業計画の策定・見直し  
を行います。

本年度からは、次世代育成  
支援行動計画に基づき、御宿  
保育所に子育て支援センター  
を開設するなど、子育てを支  
える新たな地域社会と環境づ  
くりを目指します。

## 地域活性化は 民力と協働

### 産業



▲各種産業との連携を図り、活気あるまちづくりを目指します

五カ年計画の二年目を迎えた岩和田漁港の整備は、東防波堤や消波ブロックの嵩上げ工事を行い、約三、〇〇〇万円を投入して漁港機能の高度化を図ります。また、アワビの種苗放流など漁獲量の安定

化を目指し、資源管理型漁業に取り組みます。

イノシシの被害防止対策の取り組みとして、ひもわなの追加購入や捕獲後の処理に係る費用を計上し、さらに電気柵の設置補助制度を活用し、有害鳥獣対策を行います。また、農業生産の確保や農村における生活環境の基盤整備に関する基本計画を策定します。観光キャンペーンの実施やパンフレットを作成、観光協会を主体とした四季折々の各種イベントを企画開催します。

また、宿泊業組合と連携し、農・漁業体験を組み入れた体験型観光を推進します。

さらに、本年度から千葉県観光プロモーション事業として、県とのタイアップによる観光PR活動にも取り組みます。

ウォーターパークではきれいな水質を維持するため、ろ過装置器材の交換工事を行います。

そのほか、商工会が実施する地域振興事業に対する補助や中小企業利子補給制度を継続し、行政と民間協同による地域の活性化を図ります。

## 安全で快適な生活を 生活環境の整備

### 生活環境

県道バイパスの接続路線である町道〇一〇六号線(実谷・御宿台入口付近)の改良工事については、平成十八年度の供用開始を目指し、道路の幅や歩道整備を行います。役場入口の道路については現在の道路の形状の変更を含めた用地の購入や植生吹付け工事

を実施します。また、各区からの要望を踏まえたうえで、緊急度の高いものから舗装新設や排水整備を実施します。町営住宅については岩和田団地と矢田団地の改修を行います。岩和田団地の外壁改修は四棟のうち三棟が昨年までに完了し、今年度は残す1棟について実施します。

矢田団地については、平成十一年度より継続的に実施している屋根の雨漏り対策を引き続き行います。

ごみ処理については、清掃センターの運転管理、焼却灰の搬出処理や粗大ゴミ・発泡トレイ等の処理を委託し、適正なゴミ処理を行います。また、ごみ減量化対策として生ごみ処理機・コンポスト購入の助成や水質汚濁の防止を目的として合併浄化槽の設置補助などを実施します。



▲歩道整備等により拡幅する町道0106号線

# いざという時、 団結行動 防災

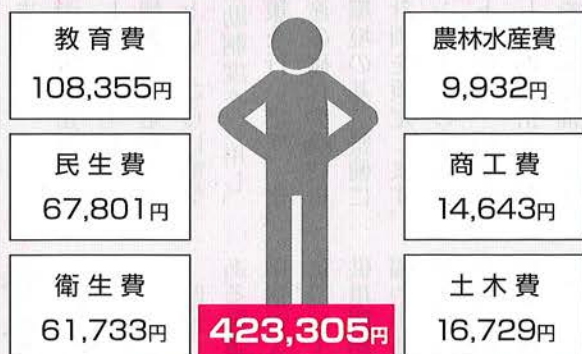


▲地域との連携による災害に強いまちづくりに向けて

災害に強い安全なまちづくりのため、災害時に関係機関と住民が一体となり災害に対処できる「地域ぐるみの防災体制」の確立を目指します。平成九年度から各区に結成されている自主防災組織については、今年度高山田地区が発足を予定しており、トランシーバーやヘルメットなど災

害対策の資機材の購入費や活動費補助を計上しました。引き続き消防団、各区が一体となった地域防災の強化を図ります。また、夷隅郡市広域消防御宿分署に人工呼吸器や輸血ポンプ等の医療機器を積載した高規格救急車の配備が予定されています。

## 町民1人当たりの一般会計予算



限られた財源で住民福祉の向上に努め、様々な行政サービスを提供します。町民一人当たりに対する予算額を見ますと、四二万三、三〇五円となります。分野ごとでは、教育関連で一〇万八、三五五円、農業・漁業・観光などの産業関連は二万四、五七五円、保健・福祉・環境などの分野では十二万九、五三四円となります。（一人当たり予算額は、平成十七年四月一日住民基本台帳人口による。）

# 一人分の予算／その他会計

## 平成17年度 当初予算のあらまし

会計名	予算額	前年度比
一般会計	34億9,100万円	4.1%増
国民健康保健会計	9億 634万円	5.9%増
老人保健会計	10億6,816万円	2.4%減
介護保険会計	4億8,452万円	10.2%増
水道会計	収益的収入	2億4,465万円 0.4%増
	収益的支出	3億1,895万円 7.2%増
	資本的収入	515万円 -
	資本的支出	1億4,239万円 200.2%増

## 一より良いサービスの提供を目指します一



▲健脚教室と介護防止教室がリニューアルして転倒防止教室を行います

歳出にともなう主な財源は、町税が九億一、八二三万三千元、地方交付税が六億九、二〇〇万円、国庫支出金二億八、九二万九千元、分担金及負担金は二億八、二三三万八千元、各種交付金が総額で二億七、二五万五千元、町債は五億八、八三〇万円を計上しました。町税は前年度に比べ三千万円程度減少するなど、

依然として一般財源の確保が厳しい状況にあります。平成十七年度においては、国と地方の三位一体改革により、特定財源である養護老人ホーム負担金が一般財源化、国民健康保険特別会計の保険基盤安定負担金が県の交付金となったり、財源の構成に変化が生じています。

# 限られた財源を有効活用 歳入

経費の効果的活用とサービスの質の向上のために

## 事務事業も工夫・改善して取り組みます

### 1. 第4次行政改革大綱を策定

行政改革大綱は、行政の改善目標と行動計画を整理したもので、3年ごとに見直しを行っています。今回は平成17年度から19年度までの計画で、住民との協働、財政の健全化、住民サービスの質の向上に向けて、7つの主要な取組みに51の行動計画を位置づけています。

#### ◆主な取組みについては次のとおりです。

- 住民との協働によるまちづくりの推進
- 事務事業の整理合理化
- 組織体制の充実と職員の資質向上
- 行政経費の節減と合理化
- 使用料や手数料など住民負担の適正化など

### 2. ① 予算事業への取組み

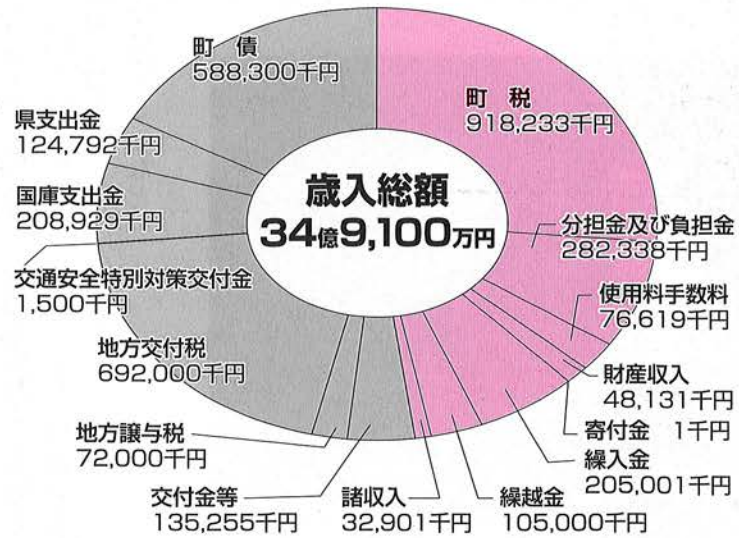
予算に大きな割合を占める人件費を今まで以上に活かすため、職員が、知恵をしぼり、業務改善や工夫に自発的に取り組む「ゼロ予算事業」を検討しています。

※第4次行政改革大綱とゼロ予算事業は別号で紹介いたします。

# 歳入・歳出の内訳

## 歳入

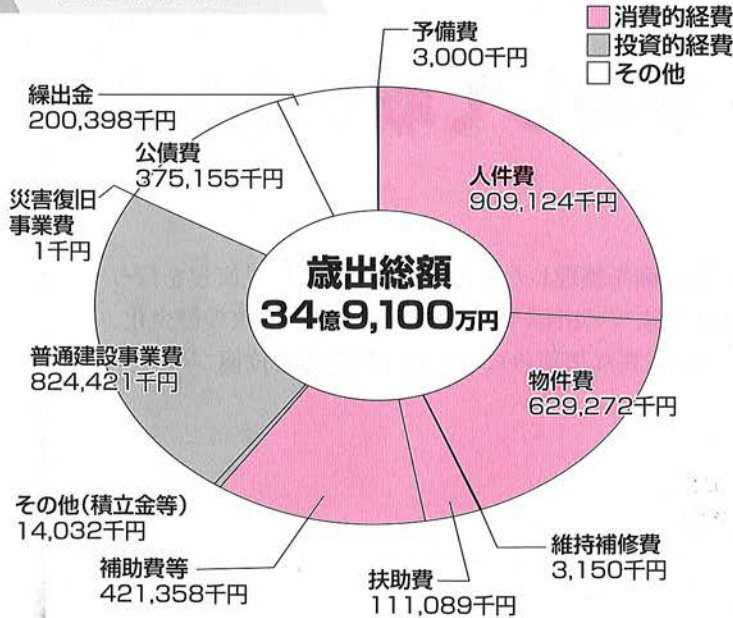
自主財源 47.8%  
依存財源 52.2%



歳入は、大きく「自主財源」と「依存財源」にわけることができます。  
自主財源は、町が自主的に収入することができる財源のことです。町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料などがあり今年度は一六億六、八二二万四千円で、前年度に比べ一億四、五八万一千円の増となり、歳入全体の四七・八%を占めています。

依存財源は、国や県の意思によって定められた額を交付される財源のことです。国・県支出金や地方債などがあり、今年度は一八億二、二七七万六千円で、前年度に比べ七八万一千円の減となり、構成比は五二・二%です。  
自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされています。

## 性質別歳出



性質別の歳出予算では、人件費は九億九一二万四千円、前年度に比べ、二・〇%の減少となりました。特別職人件費、管理職手当、各種委員報酬の見直しを行いました。  
物件費は、六億二、九二七万二千円で、前年度比で一・七%の減となりました。委託料は緊急地域雇用創出特別基金事業の終了により大幅に減額となりましたが、可燃ごみ処理の委託経費等の伸びによ

り増額となっています。また備品購入費は、中学校校舎の備品購入費用等により大幅な増額、事務経費等については、行革大綱等にもとづき削減を図りました。  
このほか、扶助費は、四・一%増の一億一、〇八万九千円、補助費等は、単独負担金・補助金等の見直しを実施したこと等により前年度比四・二%減の四億二、一三五万八千円となりました。

投資的経費は、中学校校舎改築事業を中心に前年度比四八・二%増の八億二、四四二万一千円、公債費は三億七、五一五万五千円を計上しました。  
繰入金は、対前年度比一〇・九%増の二億三、九万八千円を計上しました。老人保健特別会計における公的負担割合の増、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計における保険給付費の大幅な増が増額の要因となっています。

## 町の動き

【3月】

- 4日(木)～10日(木) 第1回定例会議会
- 11日(金) 中学校卒業式
- 18日(金) 御宿・岩和田・布施 小学校卒業式
- 19日(土) 合併50周年記念式典  
リズム&ジュニア  
教室発表会
- 25日(金) 御宿・岩和田保育所  
卒園式



# 町の活性化―発展 住民福祉の向上を目指して



御宿町長 井上七郎

薄紅色の山桜も、若葉が芽吹き、山々も新緑に染まる季節になりました。植えたばかりの稲の苗もぐんぐん育つていくことでしょう。

さて、平成十七年度は、御宿中学校の校舎が完成を迎えます。育ち盛りの子どもたちが、より充実した教育環境のもとで、成長してゆく姿を見るのが楽しみです。子育てを支援する「次世代育成支援行動計画」も策定さ

## 町長室から

れ、支援センターも設置されました。

また、役場におきましても、厳しさを増す財政状況をふまえ、第4次行政改革大綱の策定により、行政のより一層の効率化を進める一方、職員の工夫により最小の経費で、住民サービスの向上を目指した検討を進めています。

国と地方の三位一体改革や市町村合併問題など、地方行政を取巻く環境が大きく変化する中で、町の活性化と住民福祉を充実させていくために、住民の皆さまとの協働のもと、気持ちも新たに取り組んでまいりたいと考えておりますので、住民の皆さまのご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

町では、みなさんの健康づくりのお手伝いとして、老人保健法・結核予防法に基づいて、健康診査や検診、健康相談、健康教育、予防接種を実施しています。

区分	内容	対象者	時期・実施方法等
高齢者予防接種	インフルエンザ	65歳以上	10月から翌年1月申し込み制/契約医療機関で個別接種
基本健康診査	診察・問診・尿検査・血液検査など	40歳以上	5月下旬・登録制/保健センターにて集団健診
乳がん検診	エコー・マンモグラフィ	30歳以上	7月上旬・登録制・予約制/保健センターにて集団検診
子宮がん検診	細胞診	30歳以上	8月下旬・登録制/保健センターにて集団検診
胃がん検診	レントゲン	40歳以上	4月中旬・登録制/検診車巡回・集団検診
大腸がん検診	便潜血反応検査	40歳以上	10月中旬・登録制/巡回回収
肺がん検診 結核検診	胸部レントゲン	40歳以上	10月中旬・登録制/検診車巡回・集団検診
布施健康相談	保健・栄養指導等	どなたでも	偶数月原則第1木曜(午前)/上布施消防団詰所
一般健康相談	〃	〃	奇数月原則第2金曜(午前)/公民館
岩和田健康相談	〃	〃	毎月原則第1金曜(午前)/岩和田青年館
栄養教室	栄養関係講習(実習)	〃	6月から翌年3月(月1回)申し込み制
転倒予防教室	健脚度測定・運動・保健・栄養指導	概ね60歳～80歳	1コース10回(春・秋)申し込み制・海洋センター

- ★医療機関で定期的に健康診査を受けている方や病気で治療中・経過観察中の方は、町の健康診査・検診は対象外となりますのでご了承ください。
- ★各事業の日程は、「健康カレンダー」に掲載しているほか、おしらせ版や防災無線放送を通じてお知らせしています。また、基本健康診査やがん検診は、「検診受診状況調査」の結果をもとに希望者をコンピューター登録し、受診票や必要物品を個別にお送りしています。

**健康** ワンポイント 「町の保健事業を活用していますか？」

# やさしい眼差しの中で 「しなやかな子」育てて!

町では、安心して子どもを生き育てることができ、社会づくりを目指し「御宿町次世代育成支援行動計画」を策定しました。



明るく元気な笑顔、家庭はもちろんのこと、子どもは地域にとっても大切な「宝」です。子育てで抱える悩みや様々な問題に、地域が一体となって支援をしていく必要があります。

町でも低年齢児保育や延長保育、放課後児童クラブなどを通じて子育てを支援してきました。計画策定にあたっては、平成十五年度に二ーズ調査を行い、地域の課題や要望を整理しました。この調査では、子育てに伴う経済的支援や保育の充実に加え、地域全体での安全な環境づくりの要望が多くみられました。同時に子育てに関わる代表者で構成する地域協議会を設置し、検討を重ねました。

ここでは、その概要についてご紹介いたします。

## ■計画策定の目的

次代を担う子どもを育てる家庭を社会全体で支援することによって、子どもが心身ともに健やかに育つ環境を整備していくために、今後目指していく方向性と具体的な施策について住民の皆さまに発信し、共に考え実現していくことを目的としています。

## ■計画の期間

本計画は、平成十七年度から平成二十一年度までの五年間を計画期間としています。

## ■計画の基本理念

「やさしい眼差しの中でしなやかな子どもが育つまち・おんじゅく」を基本理念として事業を推進していきます。

## ■3つの基本方針に基づいた4つの目標

◆基本方針一 一人ひとりに適した子育て環境の構築

今日の社会では、家庭の生活様式や子育てに対する親の考え方は多様になっていきます。

多様化する家庭のあり方を念頭に、住民・地域・行政・関係機関と連携しつつ、できる限り一人ひとりの子どもや家庭に適した子育て環境の向上を図ります。

【目標1】  
地域全体での子育て支援の推進

子育てに関する支援サービスの充実を図り、行政、住民、民間団体を一体化した子育て環境を目指します。ひとり親家庭等の児童の健全な育成を図るため、教育費や医療費などの経済的支援により負担軽減を図ります。

## 重点プロジェクト

4つの目標における各事業の中で、本町の次世代育成環境の向上に大きく貢献する事業を「重点プロジェクト」と位置付けて、計画期間(5年間)において重点的に推進します。

### 子育て支援センターの設置

地域子育て支援センターを新たに設置します。設置にあたっては、保育所とともに地域における子育て支援施設としてそれぞれの機能を十分に発揮できるようにします。

### 放課後児童クラブの充実

小学生児童の保育を拡充するため、学童クラブの充実を図ります。

### 小児・周産期医療体制の充実

千葉県および夷隅郡・勝浦市全体の連携により、小児・周産期医療体制の充実に向けた取り組みを行います。

### 地域人材の確保・育成

福祉、学校教育、青少年健全育成活動を支える人材の確保・育成する事業を推進します。

### 配偶者の育児協力の促進

配偶者の育児協力(父親の育児参加)を促進する事業を推進します。

## 子育てなんでもご相談ください!

家庭や地域における子育ての相談や情報提供、子育て家庭や保育所との交流を図るため「子育て支援センター」を開設します。

- ・開設場所：御宿保育所内
- ・開設期間：毎週木曜日(8/13～15と年末年始 12/25～1/7は除きます。)

電話・来所とも午前10時から午後2時まで。

担当の保育士がご相談にお応えいたします。

【問い合わせ先】御宿保育所 TEL0470-68-2459

### 【目標2】

母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進

出産から成長までを視野に入れ母子ともに健康に生活を送れるよう、保健・医療面での支援に取り組みます。

◆基本方針二 郷土愛を身につけた人材の育成

時代の変化に応じて、就労・結婚・家庭・子育ての考え方も少しずつ変わります。

将来にわたり、本町に生まれ育つ子どもたちが郷土に対する深い愛情を身につけ、その個性を十二分に発揮できるように、学校・地域が一致団結

した人材育成環境の向上を図ります。

### 【目標3】

子どもの健やかな成長に資する教育環境の整備

次代の担い手である子どもたちが心と体、そして個性を豊かに育てられるよう教育の充実、施設の整備を図ります。また社会的、国際的な感覚を育成できるように様々な事業を通して推進していきます。

◆基本方針三 子育てにやさしい生活環境の形成

少子化が進む将来、「子育てに配慮した生活環境の質」が求められます。

子育てにやさしいまちという視点から、子どもたちとその家族が安全・安心に、そして快適に暮らすことのできる生活環境の向上を図ります。

### 【目標4】

子育てにやさしい生活環境の整備

子どもたちが安心して遊べる場所の確保、公営住宅、また身の周りにおける公園や道路などの整備に取り組み、生活環境面からの支援を図ります。

今後この計画に基づき、次世代の御宿町を担う子どもの育成を目指していきます。町民

の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。  
住民課・保健福祉課

### ■次世代育成支援行動計画とは

近年、核家族化や女性の社会進出など、子どもを取りまく環境は大きく変化しており、今後、少子化に加え人口減少と高齢化が一層進むことが予想されます。

そこで、平成十五年七月に「次世代育成支援対策推進法」が制定され、平成十七年度から十年間、五年を一期として地方公共団体及び従業員三〇〇人以上の企業に、行動計画の策定が義務づけられました。

大原ロータリークラブ、時計台を寄贈

## 駅前通りで時を刻む

…誤差は10万年に1秒

**駅**前通りの公民館入口に、電波時計が設置されました。この時計は、大原ロータリークラブが設立40周年を迎え、その記念事業の一環として、御宿町に寄贈されたものです。大原ロータリークラブは、岬町、大原町、御宿町の有志が集まり、地域の博愛精神のもと、様々なボランティア活動を行っています。

電波時計は、テレビやラジオの時報などに使われる、「日本標準時」をのせた電波をキャッチして時刻修正を行い、常に正確な時刻を刻みます。



# ま ち の 出 来 事

Town Report



各保育所、小・中学校で入学式  
さくら色満開、

輝くランドセル

**静**かな会場に聞こえるのは小さいけど頼もしい足音。緊張した面持ちのなか、新入生が入場します。町内の保育所、小・中学校で入学式が行われました。期待と不安を抱きながら入所・入学したのは、御宿保育所34名、岩和田保育所14名、御宿小学校57名、布施小学校5名、御宿中学校56名となりました。心配しながら我が子を見守るお父さん、お母さんをよそに、雰囲気慣れたせいもキョロキョロする園児や児童。中学生は終始姿勢を正して、まっすぐ前を向き、その様子は少し大人を感じました。

## 永石団長が消防庁長官功労章を受章

### 永年の消防活動がたたえられ

永石伸一団長（写真・前左）は50年以上にわたり、防災思想の普及、消防施設の整備その他の災害防ぎよに関する対策、消防教育の実施など消防活動の功績が認められ、消防庁長官功労章を受章されました。

また、第56回千葉県消防大会において御宿町消防団本部竹永賢本部長（写真・後中央）が日本消防協会勤続章を、井上和美訓練部長（写真・前中央）が知事永年勤続功労章を、鈴木雅浩指導部長（写真・前右）が千葉県消防協会永年勤続功労章を受章されました。



## 小川功氏、厚生労働大臣表彰受賞

民生委員、児童委員として

社会福祉の増進に貢献

小川功氏はこのたび永年にわたり社会福祉に貢献され、厚生労働大臣から表彰をされました。これまで小川氏は20年以上にわたり民生委員児童委員として地域の福祉増進に活躍され、また、平成7年から民生委員児童委員協議会会長として、他の委員の指導や町民全体を視野に入れた福祉活動の功績が認められたことによるものです。

1年間を通してがんばった「リズム体操」「ジュニアスポーツ教室」の発表会です。

手にはカスタネットやフープを持って、みんなで一緒にリズムにのって、上手に練習の成果を発表することができました。

参加者は、保育園児90名、小学校低学年の児童42名。見学された保護者の皆さんからも微笑みがこぼれていました。



見て！  
ぼくたち、わたしたち  
上手でしよ。

リズム&ジュニア教室発表会

ONJUKU

情報

INFORMATION



**乳児のBCG予防接種  
期間の変更**

結核予防法が改正され、四月一日からBCGの予防接種期間が「四歳まで」から「生下直後から六ヶ月まで」に変更となりました。

BCGは、乳児結核の重症化を防ぐうえで、必ず予防接種を受けるようお願いいたします。

また、今回の改正により、生後六ヶ月以降の乳児については、四月以降は公費による接種対象にならなくなりました。

**▼問い合わせ**

県健康増進課

☎〇四三(二三)二六六五

町保健福祉課

☎(六八)六七一七

**千葉県生涯学習  
フェスティバル参加募集**

十月八日(土)・九日(日)に東金文化会館において開催される千葉県生涯学習フェスティバルに出演するNPO、サークルなどの生涯学習団体を募集しています。

**▼参加内容**

ステージ発表、テントや展示ブースでの活動紹介など

**▼申込方法**

所定の申込用紙に必要事項を記入しフアクスマまたは郵送

**▼申込用紙配布場所**

県教育庁生涯学習課、町教育委員会

**▼申込期間**

五月九日(月)～三十一日(火)消印有効

**▼問い合わせ・申込先**

千葉県生涯学習フェスティバル実行委員会

☎〇四三(二三)四〇七二

**平成17年度 全国高校総合体育大会  
「2005 千葉きらめき総体」総合開会式**

**一般観覧者募集**

- 日時 平成17年8月1日(月) ●会場 幕張メッセ
- 募集人数 3,000人(入場無料)
- イベントホール 1,000人(式典会場) 展示ホール 2,000人
- 募集期間 平成17年4月1日(金)～5月31日(火)当日消印有効

**▼申込方法**

- 必ず封書で申込んでください。(下記の①・②を同封。封筒表左下に「入場券申込」と朱書き。)
- ①入場券申込票
  - ・応募チラシ(コピー可)から切り取って使用してください。または「2005 千葉きらめき総体」ホームページからプリントアウトしたものを使用してください。
- ②返信用封筒
  - ・返信用封筒は定型長形3号とします。(23.5×12cm ハガキが入る大きさ)
  - ・申込代表者の住所・氏名・郵便番号を明記し80円切手を貼ってください。
  - ・申込みは、1人1回限りとします。(同一人の複数申込みはできません)
  - ・申込代表者を含めて2名まで申込みます。
  - ・小学生以下の児童が来場を希望する場合は保護者の同伴が必要です。

**▼注意事項**

- 展示ホールでは、大型プロジェクターによる観覧となります。(展示ホールは式典会場と異なります。)
- 入場締切から開会式終了まで途中退場はできませんので予めご了承ください。
- 申込者数が募集人員を上回ったときは、抽選で観覧者を決定し、7月中旬までにその結果を申込代表者あてに通知します。(当選者には、入場券を同封します。また、抽選にもれた方もその旨通知します。)
- 返信用封筒の不備(切手の貼り忘れ、料金不足など)、入場券申込票の記入もれがあった場合は、無効とします。
- 入場の際に身分証明書提示、荷物検査を求められることがあります。
- 入場券の譲渡及び再発行はできません。
- 荒天等のため総合開会式の開催ができなくなった場合は、当日の早朝、テレビ・ラジオ・総体HP等でお知らせします。この場合は、入場券は無効となります。

**▼総合開会式日程及び内容**

入場開始	8:30
入場締切	9:45
開会宣言	10:30
公開演技	11:15
終了	12:00

**《主な内容》**

- 大会序章(県内高校生が演出)
- 選手団入場行進
- 式典
- 公開演技(県内高校生が演出)
- 選手団激励(県内高校生が演出)

**■申込及び問合せ先**

〒260-0854 千葉市中央区長洲1-9-1  
 全国高校総体推進室内  
 「2005 千葉きらめき総体」  
 総合開会式一般観覧者募集係  
 ☎ 043-223-4128

<http://www.pref.chiba.jp/kyouiku/soutai/>

※展示ホールにて、午後も引き続きイベントを実施します。

今月の表紙

入学式から数日経ちました。  
 保育園とは違って、教室の掃除もしなければいけません。上級生のお兄さん・お姉さんに面倒を見てもらいながら、しっかりと教室の掃除もできるようになりました。帰りの時間まで元気一杯に毎日を過ごしているようです。

人の動き

8,247人 (+6) 男 3,919人 女 4,328人  
 世帯数 3,345 (平成17年4月1日)

御宿分署の出動状況

火災件数 0 (2) 救急件数 32 (95)  
 ( )内は1月からの累計 (平成17年3月中)

交通事故発生状況

発生件数 3 死者数 0 負傷者数 4  
 (平成17年1月1日～3月27日現在)

町民バス利用状況

乗車人数 199 (561)  
 ( )内は1月からの累計 (平成17年3月中)

ダムの貯水状況

貯水率 100.0% 有効貯水量 579,000m<sup>3</sup>  
 (平成17年3月20日現在)

慶弔 (3月届)

出生 1 死亡 13

今月号から広報づくりを担当いたします。  
 読みやすい広報づくりを心掛け、様々な角度から見た情報をお届けしたいと考えています。  
 今回多くの方々のご協力により取材や写真撮影ができました。仕事に大切な人と人の繋がりを改めて実感し、次の取材でどのような方に出会えるかが楽しみです。(一)

編集後記

【御宿俳壇】

兼題 陽炎(かげろう)  
 ※兼題とは、俳句の題のこと

俳句愛好会

芽吹きつつ空おし上げて古木かな  
 ひきこまれさうな青空花辛夷  
 陽炎やいつしか野には野の匂ひ  
 陽炎に揺るるバス停人訪はな  
 初蝶のはねうれしくてうれしくて  
 鎌の刃を研ぎて春日にかざし見る  
 言ひすぎしことをぬぐえず春浅し  
 陽炎や船ゆらゆらと沖に見ゆ

大谷 仲  
 鶴岡 徳治  
 岡田まさし  
 岡本 俊康  
 小野 玲子  
 嵯峨 通恵  
 大曾根利枝  
 福菌千鶴子

長閑なり岸をはなれし渡し舟  
 早春のみちの彼方に光る海  
 磯山の間近にありて春霞  
 陽炎に岬の灯台おちつかず  
 テニスコート右に左に陽炎よ  
 日にゆだね風にゆだねて寒桜  
 観音の顔ふくよかに春の山  
 一村をつらぬき返し初つばめ

岡本 守  
 岩崎 千恵  
 秋葉喜美江  
 桜谷 敬蔵  
 菊池 武夫  
 姫野 千晴  
 河崎 康代  
 石田ゆき緒

評

第1句目、写生に徹した観察力が見えてよい。第2句目、ひきこまれそうな季節を作者の詩情あり。第3句目、変わる季節をとらえた作者の感性は確か。(石田)



## 座右の銘

# マイペース

工房ル・デ・ア・クールドル主宰  
野口 京子さん(御宿台)

主人との旅行でドイツの城壁の町ローテンブルグを訪れたとき、初めてビスクドールに出会いました。それがきっかけでビスクドールを作るようになり、平成十四年には、米国で開催された「ニューヨーク国際ドールショー」で、日本人としては五人目となるノンプロの部最高賞のミラー賞を受賞することができました。

埼玉県の所沢市から、主人と重度の知的障害を持つ息子の三人で御宿町に越してきて一年八か月が経過しました。これまでは、息子とのかかわり時間の合間を使って人形を制作してきましたが、御宿町に来てからは主人の協力もあって、以前より人形を制作する時間が増えました。


これからは人形作家としての第二の人生を、豊かな自然があふれ、ゆっくりとした時が過ぎる大好きな御宿町で、楽しみながら愛らしいビスクドールを制作していきたいと考えています。

### 『ビスクドールとは』

独特な風合いをもつ彩色された磁器の肌、きらきら光るガラスの瞳。ビスクドールは、19世紀半ばにフランスで誕生しました。磁器とは思えないほど暖かみのある表情をしています。ビスクとは、フランス語でビスキュイ(二度焼き磁器)の意味。本焼きで白磁にし、肌色をつけて再び焼成することから生れた言葉です。実際には完成までに6~7回の焼成を繰り返します。

おんじゅく  
**彩** 発見  
さり

発行：御宿町 発行責任者：井上 七郎 編集：企画財政課 電話：0470-68-2511(代)  
住所：〒299-5192 千葉県夷隅郡御宿町須賀1522 ホームページ：<http://www.town.onjuku.chiba.jp/>

 ※この広報紙は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。